

* 事故の発生状況 H24 年 4 月末現在 *

新年度に入り、4 月は無災害を達成し順調な滑り出しを見せています。

異常なまでに寒暖の差が激しい昨今ではありますが、いよいよ初夏の到来を思わせるかのようにあちこちで水田の準備作業にいそしむ方々の姿が見受けられます。

そうした中、草刈り作業や剪定作業の機会が増えてきました。会員の皆様におかれましては、『安全はすべての作業に優先する』ことを認識していただき、『自分の身は自分で守る』を基本に、体調管理を怠ることなく、そして、できる限りの安全対策を行ってください。

シルバー事業	4 月発生分	年度累計
傷害事故	0	0
賠償事故	0	0
計	0	0

【 過去の災害事例から得た教訓 】

- ヘルメット、保護メガネ、手袋を着用し、身なりを整えること。
- 梅干し、塩飴、スポーツ飲料などを持参する。そして、こまめに水分・塩分補給を行うように。
- ホイッスル（笛）を携帯する。何かにつけ、これは便利です。
- 草刈り作業では、作業員同士お互いに草刈り機が接触することがないように 5 m 以上離れること。
- 広い斜面を刈り進む場合、傾斜の下側に居る作業員は、高い所での作業員の直下範囲には絶対に立ち入らないこと。（上の作業員が転がり落ちたとき、巻き添えを食わないため）
- 飛び石に注意。必要に応じて、防護ネットを設置する。
- 刈払い機に巻き付いた雑草の除去は、必ずエンジンを止めて行うこと。
- 給油に際してはタバコ厳禁！ 横着しないように。
- 刈った草が農業用水路にたまと農家の方々に迷惑をかけるので、片づけてください。
- フード付雨具の使用では、頻りに他作業員との位置確認をすること。
- 足元に注意！ 脚立の下にはゴム・マット（シルバー本部で貸出します）を敷き、バランスを確認すること。また必要に応じて木にくくりつける等転倒防止を行うこと。
- エンジン式トリマーやチェーン・ソーを持ち運ぶ場合、刃先は必ず外へ向けて保持すること。
- 電動式トリマーの電気コードは、必ず自分自身の後方に位置するよう体制を整える。
- また、電動式トリマーの使用に際しては「NFB 付コンセント」（シルバー本部で貸出します）を接続する。
- 枝木の伐採等で高所作業を行う場合は、必ず安全ベルトを着用する。誤って安全ベルトを切断しないように。
- スカイマスターは、車両後部を標的（作業対象）に向けて停車させ操作する。
- 周囲の状況にも気配りを。まむし、ヒルにご用心。
- 公道に面した場所で作業する場合は、軽トラに「LED ランプ付反射式矢印板」（シルバー本部で貸出します）を掲示する。
- 携帯電話 必携。

